

「令和4年度 第5回境港市みんなでまちづくり推進会議」会議録

【日 時】令和4年11月9日（水）18:30～20:45

【場 所】境港市役所 第1会議室

【出席者】松本幸永（会長）、畑本愛（副会長）、三原真由美、吹野真彩、藤中誠也、
足立勲、舛岡彩子、松田真二（8名・敬称略）

【欠席者】井上竜輔、遠藤緑、渡辺博美、吉田明広（4名・敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】小川博史（地域振興課長）
立花順平（地域振興課長補佐兼企画係長）
竹本夏樹（地域振興課企画係主任）

【アドバイザー】毎熊浩一（島根大学法文学部教授）

- 【日 程】1 開会
2 今期の取組テーマについての協議
3 事務連絡・閉会

1. 開会

〔事務局〕

定刻となりましたので、ただ今から令和4年度第5回境港市みんなでまちづくり推進会議を開会いたします。よろしくお願ひします。

本日は、本推進会議のアドバイザーでいらっしゃいます島根大学法文学部教授 毎熊浩一先生に来ていただいております。

それでは、まず、本推進会議の松本会長よりご挨拶をお願いします。

〔会 長〕

皆さん、こんばんは。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

本日は、井上竜輔委員、遠藤緑委員、渡辺博美委員、吉田明広委員から欠席されると連絡が入っています。

本日は、今期のテーマについて協議をします。前回会議のワークショップでの議論を元に、事務局と毎熊先生が事前に打ち合わせをされたようです。

事務局と毎熊先生の話聞いたうえで、活発に意見を出していただけたらと思います。それでは、皆さんよろしくお願ひします。

2. 今期の取組テーマについての協議

〔事務局〕

会長、ありがとうございました。

今回のテーマの協議に入る前に、配布資料のスケジュールをご確認ください。

当初のスケジュールでは第6回の予定が未定でしたが、事務局としては今期のテーマを協議するにあたり、今年度中に後1回は協議が必要と考えています。今のところ、2月頃

の開催を予定しています。

続いて、今回のテーマについての協議にあたり、事務局から前回会議の振り返りをします。資料「今期のテーマ決定のためのワークショップ」意見まとめをご覧ください。

(事務局から振り返り)

[事務局]

続いて、毎熊先生にお話しいただきます。毎熊先生、よろしくお願いします。

[毎熊アドバイザー]

今日の会議にあたって資料を作りましたのでご覧ください。

(毎熊アドバイザーから振り返り)

[事務局]

ありがとうございました。

それでは続いて協議に入ります。会長に進行をお願いします。

協議内容

○協議経過

今年度当初から第5回会議までの協議経過（要旨）：

地域の会議などに特定の人しか集まらない。まちの課題が多くの人にとっては「他人ごと」になっているため、まちの課題解決に向けた取り組みが進まないのではないか。

自分の好きなことや特技（自分ごと）をまちづくりに活かすことのできる仕組みがあれば、まちづくりに参画する市民が増えるのではないか。

第5回会議の協議経過（要旨）：

・（副会長からの提案）自分の好きなことや特技をまちづくりと掛け合わせるために、市民の好きなことや特技を調査する。例えば、みなとテラスの入り口に掲示板を設置して、付箋に好きなことや特技を書いて貼ってもらう。付箋に書いてもらうのが難しければ、良いと思ったものにシールを貼ってもらうこともできる。

・好きなことや特技を答える理由がわからなければ、付箋に書いて貼り付ける人は少ないのではないか。回答する人は既にまちづくりに参画している人やお願いすれば関わってくれる人だと思う。特定の人ではなく、市民みんながまちづくりに参画するための方法を協議するのが目的だったはず。

・最初から全員ではなくて、最初は興味ある人からでいいのではないか。掲示板を設置するだけでは回答してくれる人がいないのであれば、例えば、みなとテラスで市主催のイベ

ントがあるときに、参加者に回答してもらうようお願いすることはできるのではないか。

・(今回の参加者に好きなことや特技を聞きとり)

例：草刈り、農業、太鼓、吹奏楽、ピアノ、DIY、読み聞かせ、食べ歩き、スキー、ベビーマッサージ、ジョギング 等

趣味や特技を組み合わせて、できそうなまちづくりのアイデアを考える。

趣味・特技をまちづくりと掛け合わせるためのアイデアだしの場を設けると話し合いが盛り上げる。

・例えば、お酒と食べ歩きとDIYを掛け合わせれば人が集まりそうなイベントはできそうだが、まちづくりになっているか検討する必要がある。

このイベントもまちづくりにつながっているということの良いのではないか?という意見あり。

・まちづくりとは、まちを活性化させること。文化祭のような毎年開催するイベントで地域を盛り上げるだけでなく、日々の買い物や医療費のことなど日常生活を充実させるという考え方もある。

・市政全般を対象にすると難しいので、まちづくりの範囲を絞って市民ができるアクションを協議する必要があるのではないか。

・境港市内の子どもの学力が低下していると聞いている。大人の趣味や特技を子どもたちに伝えて学習意欲が高まれば学力向上につながるのではないか。

・このまま次回に協議を持ち越しても進まないので、「市民の趣味や特技を掲示板やアンケートで調査する」ということは決定する。「趣味や特技を教えてください」だけでは回答が得られにくいので、調査方法を事務局で案を考えて、毎熊アドバイザー、会長、副会長と協議をして、次回の会議までに調査をして、回答を集め、結果をとりまとめる。次回の会議で集計結果を元に次年度の方針を決定する。

回答を集める方法として、回答者に景品を提供する。ネットで回答できるようにして、QRコードからアンケートを読み込めるようにする等の意見があったが、いずれの方法にしても、市民に対して調査に回答する理由がわかるような説明を明記する必要がある。

○結論

テーマ：今回の会議では決めず、次回以降に検討する。

方向性：「自分ごと（趣味や特技）」を「まちづくり」と掛け合わせる方法について検討する。

手法：市民を対象として掲示板やアンケートを用いて趣味や特技の調査をする。

次回議会（令和5年2月頃）までの進め方：

- ・調査項目のたたき台を事務局で作成し、アドバイザー、会長及び副会長と協議して調査方法を決定する。
- ・紙ベースだけでなく、インターネットを使った調査も検討する。
- ・次回会議までに調査を行い、結果をとりまとめる。
- ・調査結果を元に次年度の方針を協議する。

〔事務局〕

ありがとうございました。

それでは、「市民を対象として掲示板やアンケートを用いて趣味や特技の調査をする」という方向で準備をしていきます。よろしくお願いします。

3. 事務連絡・閉会

〔事務局〕

次回の推進会議ですが、冒頭にご提案しましたとおり、2月頃に開催します。

以上で、第5回みんなでまちづくり推進会議を終了します。皆さん、長時間に渡り、ありがとうございました

<閉会>